

懐かしお菓子・ジュースクイズ

問題に答えましょう。

問1. キャッチコピーは「1粒300メートル」。パッケージに「両手を上げて走る男性」が描かれているキャラメルといえは？

問2. 昔からある「ボンタンアメ」。キャラメルのように箱に入っていますが、包んである透明なフィルムは剥がさずに食べられます。このフィルムは何でできている？

問3. 「ミルキーはママの味♪」でおなじみの不二家のキャンディ。パッケージに描かれている、舌を出した女の子のキャラクターの名前は？

問4. 缶に入った「サクマ式ドロップス」。色々なフルーツ味がありますが、ハッカ味は何色だった？

問5. 昭和20年代に大ブームになった「カバヤキャラメル」。おまけの点数を集めると何がもらえた？

問6. 赤い箱に男の子の顔が描かれている「ビスコ」。ビスケットの間には何が挟んである？

問7. 昭和36年発売の「マーブルチョコレート」。筒状の箱に入った7色のチョコですが、当時おまけで付いていて子どもたちが夢中になったシールは、どのアニメのキャラクター？

問8. 昔、公園や空き地によく来ていた「紙芝居屋さん」。紙芝居を見るために、子どもたちは何を買っていた？

問9. お米を専用の機械に入れ、大きな音とともに膨らませる昔ながらのお菓子といえば？

問10. お祭りの屋台などでよく見た「カルメ焼き」。お玉に砂糖と水を入れて火にかけます。膨らませるために入れる粉は何？

問11. 駄菓子屋の定番「きなこ棒」。当たりのつまようじの先には何色の印がついている？

問12. 昭和34年発売。ラーメンの麺を砕いたような形のスナック菓子「ベビースターラーメン」ですが、発売当初は名前が違いました。当初の名前は何でしょう？

問13. 「やめられない、とまらない♪」のCMソングでおなじみのカルビーのスナック菓子は何？

問14. 森永製菓の「チョコボール」。パッケージの鳥のキャラクター「キョロちゃん」が有名です。では、箱についている金のエンゼルを集めて貰えるものは何？

問15. 昭和44年に発売された、イチゴ味とミルク味の2層になった三角錐のチョコレート。同年月に人類初の人面着陸に成功した宇宙船の名前から名付けられましたが、何チョコ？

問16. 昔の「カルピス」は、茶色いガラス瓶に入っていました。それを包んでいた紙の柄は、どんな模様だった？

問17. 昭和30年代に大ヒットした「粉末ジュース」。水に溶かして飲むのが普通ですが、子どもたちはよく「あること」をしてお母さんに怒られました。どんなこと？

問18. 昭和33年に発売されたオレンジ味の瓶ジュース「プラッシー」。スーパーなどではなく、主に「何屋さん」が配達してくれた？

問19. 夏の定番「ラムネ」。ガラス瓶の飲み口の途中に、栓の役割として入っている丸いものは何？

問20. 「銭湯」でお風呂上がりに飲む瓶の飲み物といえば、コーヒー牛乳と、オレンジ色の何牛乳？

問21. 昭和40年発売の「オロナミンC」。看板やCMで黒縁メガネの人物が「うれしいと〇〇〇が落ちるんですよ」というギャグを披露。〇〇〇に入るのは？

問22. 健康飲料の「ヤクルト」。今はプラスチックの容器ですが、昭和43年頃まではどんな容器に入っていた？

問23. 駄菓子屋さんの店先に置いてあった、コカ・コーラなどの瓶ジュースの「販売機」。ジュースを買った後、蓋(王冠)を開けるためにケースに備え付けられていたものは何？

問24. 昔のコカ・コーラや三ツ矢サイダーのガラス瓶。飲み終わった空き瓶を酒屋さんや駄菓子屋さんに返しに行くと、どうなった？

問25. 昭和40年代、ミキサーで作る「ミックスジュース」や「バナナジュース」が大流行しました。当時は高級品でしたが、お見合いやデートの定番だった「〇〇〇」というお店でよく飲まれていました。何というお店？

懐かしお菓子・ジュースクイズ(解答と解説)

問1. キャッチコピーは「1粒300メートル」。パッケージに「両手を上げて走る男性」が描かれているキャラメルといえは？

答え：グリコキャラメル

栄養価の高さから「これ一粒で300メートル走れるエネルギーがある」と宣伝されました。

問2. 昔からある「ボンタンアメ」。キャラメルのように箱に入っていますが、包んである透明なフィルムは剥がさずに食べられます。このフィルムは何でできている？

答え：オブラート(でんぷん)

「間違えて紙ごと食べちゃった！」と焦るのが、初めて食べる時のあるあるでしたね。

問3. 「ミルキーはママの味 ♪」でおなじみの不二家のキャンディ。パッケージに描かれている、舌を出した女の子のキャラクターの名前は？

答え：ペコちゃん

昭和26年発売。当時は高級感があって、憧れのお菓子でした。

問4. 缶に入った「サクマ式ドロップス」。色々なフルーツ味がありますが、ハッカ味は何色だった？

答え：白色

「ハッカが出たらハズレ」「いや、ハッカが好きだった」など、好みが分かれて会話が弾む定番です。

問5. 昭和20年代に大ブームになった「カバヤキャラメル」。おまけの点数を集めると何がもらえた？

答え：カバヤ児童文庫(本)

このおまけの本は大人気でした。宣伝用の「カバ車」も全国を走りました。

問6. 赤い箱に男の子の顔が描かれている「ビスコ」。
ビスケットの間には何が挟んである？

答え：クリーム

昭和8年発売の超ロングセラー。栄養たっぷりのお菓子として親しまれました。

問7. 昭和36年発売の「マーブルチョコレート」。筒状の箱に入った7色のチョコですが、当時おまけで付いていて子どもたちが夢中になったシールは、どのアニメのキャラクター？

答え：鉄腕アトム

日本初の国産糖衣チョコレート。アトムのシール集めが大流行しました。

問8. 昔、公園や空き地によく来ていた「紙芝居屋さん」。紙芝居を見るために、子どもたちは何を買っていた？

答え：水飴(または型抜き、梅ジャムなど)

お菓子を買った子だけが前の特等席で紙芝居を見ることができました。

問9. お米を専用の機械に入れ、大きな音とともに膨らませる昔ながらのお菓子といえば？

答え：ポン菓子(ドン菓子・ばくだん)

「ドカーン！」という音に耳を塞ぎながらも、出来立ての甘いお米を食べるのが楽しみでした。

問10. お祭りの屋台などでよく見た「カルメ焼き」。お玉に砂糖と水を入れて火にかけます。膨らませるために入れる粉は何？

答え：重曹(ふくらし粉・ベーキングパウダー)

ぷくーっと膨らむ様子を見るのが楽しく、サクサクとした甘さがたまりませんでした。

問11. 駄菓子屋の定番「きなこ棒」。当たりのつまようじの先には何色の印がついている？

答え：赤色

当たるともう1本！赤い印が見えた時の嬉しさは今も昔も変わりません。

問12. 昭和34年発売。ラーメンの麺を砕いたような形のスナック菓子「ベビースターラーメン」ですが、発売当初は名前が違いました。当初の名前は何でしょう？

答え：ベビーラーメン

インスタントラーメンを作る時にこぼれ落ちた麺を、味付けしておやつにしたのが始まりです。価格は10円でした。

問13. 「やめられない、とまらない♪」のCMソングでおなじみのカルビーのスナック菓子は何？

答え：かっぱえびせん

昭和39年発売。本当に手が止まらなくなる美味しさで、大ヒットしました。

問14. 森永製菓の「チョコボール」。パッケージの鳥のキャラクター「キョロちゃん」が有名です。では、箱についている金のエンゼルを集めて貰えるものは何？

答え：おもちゃのカンヅメ

昭和42年発売。何が入っているか分からないカンヅメは子どもたちの憧れでした。

問15. 昭和44年に発売された、イチゴ味とミルク味の2層になった三角錐のチョコレート。同年月に人類初の人面着陸に成功した宇宙船の名前から名付けられましたが、何チョコ？

答え：アポロチョコ

アポロ11号の司令船の形をモチーフにして作られました。

問16. 昔の「カルピス」は、茶色いガラス瓶に入っていました。それを包んでいた紙の柄は、どんな模様だった？

答え：水玉模様

原液を水で薄めて飲むため、お客様が来た時の特別な飲み物でした。濃く作りすぎてお母さんに怒られた人も多いはず。

問17. 昭和30年代に大ヒットした「粉末ジュース」。水に溶かして飲むのが普通ですが、子どもたちはよく「あること」をしてお母さんに怒られました。どんなこと？

答え：粉のまま舐める(直接食べる)

手のひらに出して舐めたりして、口の周りや舌が真っ黄色(またはオレンジ色)になってバレてしまいました。

問18. 昭和33年に発売されたオレンジ味の瓶ジュース「プラッシー」。スーパーなどではなく、主に「何屋さん」が配達してくれた？

答え：お米屋さん

武田薬品工業が開発し、お米屋さんの販売ルートを使って各家庭に届けられていました。

問19. 夏の定番「ラムネ」。ガラス瓶の飲み口の途中に、栓の役割として入っている丸いものは何？

答え：ビー玉(ガラス玉)

飲み終わった後、なんとかして瓶の中からビー玉を取り出そうと奮闘したのも良い思い出です。

問20. 「銭湯」でお風呂上がりに飲む瓶の飲み物といえば、コーヒー牛乳と、オレンジ色の何牛乳？

答え：フルーツ牛乳

腰に手を当てて、冷たい瓶の牛乳をゴクゴク飲むのが銭湯の最高の楽しみでした。

問21. 昭和40年発売の「オロナミンC」。看板やCMで黒縁メガネの人物が「うれしいと〇〇〇が落ちるんですよ」というギャグを披露。〇〇〇に入るのは？

答え：メガネ

ホーロー看板(鉄板の看板)が街の壁に貼られていました。

問22. 健康飲料の「ヤクルト」。今はプラスチックの容器ですが、昭和43年頃まではどんな容器に入っていた？

答え：ガラス瓶

昔は小さなガラス瓶に入っていて、ヤクルトレディ(ヤクルトおばさん)が配達してくれました。

問23. 駄菓子屋さんの店先に置いてあった、コカ・コーラなどの瓶ジュースの「販売機」。ジュースを買った後、蓋(王冠)を開けるためにケースに備え付けられていたものは何？

答え：栓抜き

本体に固定された栓抜きに瓶の蓋を引っ掛けて「シュポッ！」と開けるのが快感でした。

問24. 昔のコカ・コーラや三ツ矢サイダーのガラス瓶。飲み終わった空き瓶を酒屋さんや駄菓子屋さんに返しに行くと、どうなった？

答え：10円(瓶代)が返ってきた

「保証金制度」ですね。子どもたちにとって、空き瓶拾いは良いお小遣い稼ぎになりました。

問25. 昭和40年代、ミキサーで作る「ミックスジュース」や「バナナジュース」が大流行しました。当時は高級品でしたが、お見合いやデートの定番だった「〇〇〇」というお店でよく飲まれていました。何というお店？

答え：純喫茶(喫茶店)

ベルベットのソファーに座り、ちょっとよそ行きのおしゃれをして行く特別な場所でした。